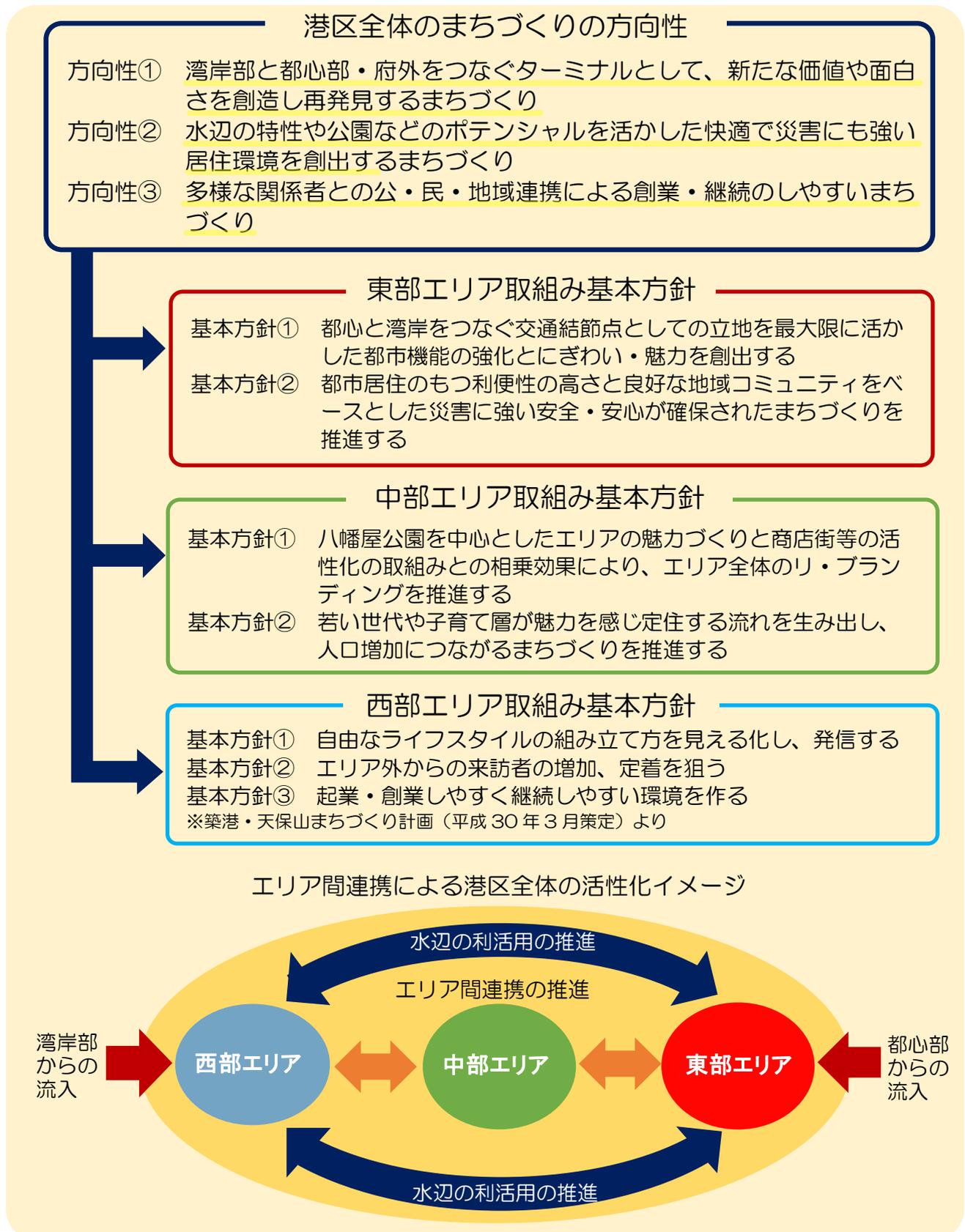


(5) エリア別取組みの基本方針

- 港区全体のまちづくりの方向性及び SWOT 分析により導かれたエリア別取組みの方向性を踏まえて、各エリアの取組みの基本方針を次のとおり設定し、エリアごとの具体的な取組みにつなげるとともに、エリア間連携を推進することにより港区全体の活性化をめざします。



港区の3エリアの取組み基本方針とエリア間連携のイメージ図

西部（大阪港駅周辺）エリア

【基本方針①】

自由なライフスタイルの組み立て方を見える化し、発信する

【基本方針②】

エリア外からの来訪者の増加、定着を狙う

【基本方針③】

起業・創業しやすく継続しやすい環境を作る

※築港・天保山まちづくり計画（平成30年3月策定）より

東部（弁天町駅周辺）エリア

【基本方針①】

都心と湾岸をつなぐ交通結節点としての立地を最大限に活かした都市機能の強化とにぎわい・魅力を創出する

【基本方針②】

都市居住のもつ利便性の高さと良好な地域コミュニティをベースとした災害に強い安全・安心が確保されたまちづくりを推進する

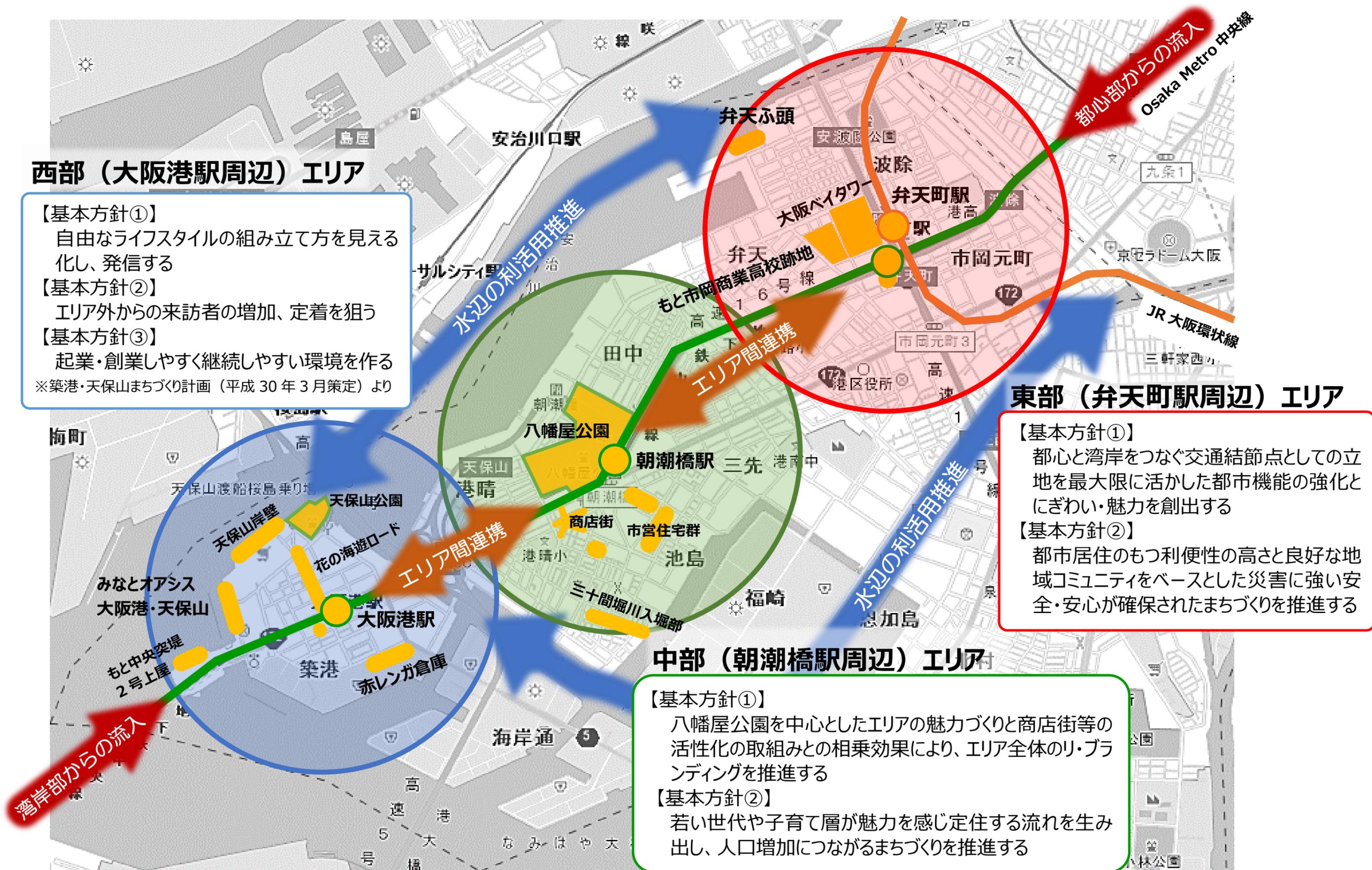
中部（朝潮橋駅周辺）エリア

【基本方針①】

八幡屋公園を中心としたエリアの魅力づくりと商店街等の活性化の取組みとの相乗効果により、エリア全体のリ・ブランディングを推進する

【基本方針②】

若い世代や子育て層が魅力を感じ定住する流れを生み出し、人口増加につながるまちづくりを推進する



第4章 具体的な取組みと主な取り組み実績（令和4年10月時点）

前章でまとめた、エリア別取組みの基本方針に沿って、本プランを推進するための具体的な取組みを設定します。

なお、本プランの取組み期間については、令和3年度から大阪・関西万博の開催年である令和7年（2025年）までの概ね4年間とし、関係機関等と協議・調整を十分に行いながら、進ちょく状況や取り巻く環境の変化等に柔軟に対応していきます。

（1）東部（弁天町駅周辺）エリア

【取組みの方向性①】

大阪ベイタワーを中心とした弁天町駅周辺エリアのにぎわいの創出

- ・大阪湾岸部の玄関口である弁天町駅周辺は、大阪ベイタワーを中心として、ホテル、オフィス、商業店舗、高層住宅等からなる都市機能の集積が一定なされていますが、2025年大阪・関西万博やIR誘致といった湾岸部全体の活性化に向けた流れを受け止めて、港区全体に波及・定着させていくための要となるよう、さらなる魅力の創造・発信が求められています。
- ・このため、既存施設の空間・施設構成を有効に利活用し、エリアの再活性化を図るとともに、もと市岡商業高等学校跡地や交通科学博物館跡地等における民間等の活力を生かした開発によって、既存の施設とあいまって、職・商・住の機能が集約された都市魅力を新たに創出できるよう、産業振興の取組みとも連携しながら、区民はもとより、大阪ベイタワー、大阪メトロ、JR西日本といった開発・運営主体などと方向性を共有したうえで、必要な協働・連携によるまちづくりを推進するため、多様な関係者が参画したまちづくりプラットフォーム※を構築します。

※まちづくり活動を実施している様々な主体が連携・協力し、一体となって取組むための仕組み

○具体的な取組み内容

- ①大阪ベイタワーアトリウム等の公共空間を活用した社会実験イベント等の継続的な実施
- ②まちづくりプラットフォームの構築

○主な取り組み実績（R4.11時点）

- ・まちづくり検討体制の構築に向けた商業事業者や鉄道事業者等との意見交換会の実施（令和3年度2回開催）
- ・大阪ベイタワーアトリウムでのポップバイイベントの広報協力

【取組みの方向性②】

もと市岡商業高等学校跡地の民間活用（売却）の推進

- もと市岡商業高等学校跡地については、弁天町駅に近接し、大規模敷地という開発ポテンシャルが非常に高い敷地であり、跡地の開発が進むことにより弁天町エリアのさらなる活性化が期待されます。
- 大阪市未利用地活用方針では、令和5年度までに売却を行う予定としており、民間による有効活用（売却）を図っていきます。

○具体的な取組み内容

- ①もと市岡商業高等学校跡地の民間活用（売却）の推進

○主な取組み実績（R4.11 時点）

- エリア別タウンミーティングにおける意見交換の実施（R3.12）

（主な意見）

市商跡地をこのまま放置しているのでは何も生み出さない。すぐに売却できないなら暫定的に何らかの活用をしていくべき。

港区全体のバランス考えると弁天町に人口が集中するのは望ましくない。市商跡地は、全て住宅でなく、地域にもメリットのあるような開発を望む。売って終りではなく、地域のまちづくりの視点を持ってほしい。

- 関係部局との各種調整の実施

【取組みの方向性③】

弁天町駅周辺エリアのバリアフリー化の推進

- ・弁天町駅前土地区画整理記念事業をはじめとして、万博開催及び IR 誘致を契機とした弁天町駅周辺の開発増加が見込まれるなか、弁天町駅周辺エリアのバリアフリー化を推進するため、バリアフリー基本構想に基づく継続的な取組みを行うとともに、特に国道 43 号線地下道及び大阪ベイタワーと JR 弁天町駅を結ぶ立体横断施設のバリアフリー整備に向けた調整を進めていきます。

○具体的な取組み内容

- ①交通バリアフリー弁天町地区連絡調整会議の開催（交通バリアフリー基本構想に基づく継続的な取組み）
- ②国道 43 号地下道のバリアフリー整備に向けた調整
- ③大阪ベイタワーと JR 弁天町駅を結ぶ立体横断施設のバリアフリー整備に向けた調整

○主な取組み実績（R4.11 時点）

- ・交通バリアフリー弁天町地区連絡調整会議の開催（R4.1 開催）
- ・国土交通省実施のエレベーター設置工事の着手にむけた協力

【取組みの方向性④】

水辺空間の利活用の推進

- ・万博開催や IR 誘致を見据え、弁天ふ頭等の水辺空間において、築港・天保山エリアの取組みと連携しながら、水辺空間の利活用に向けた取組みを進めていきます。

○具体的な取組み内容

- ①水辺空間の利活用に向けた検討プラットフォームの構築
- ②舟運や既存施設等を活用した社会実験イベント等の実施

○主な取組み実績（R4.11 時点）

- ・弁天ふ頭発着舟運社会実験の広報協力

【取組みの方向性⑥】

（仮称）区画整理記念・交流会館を拠点としたまちづくりの推進

- ・令和4年度末竣工予定の「（仮称）区画整理記念・交流会館」を拠点として、世代を越えて人々が出会い、交流・活動することによって、豊かなコミュニティを醸成していく場としての活用を推進します。

○具体的な取組み内容

- ①「（仮称）区画整理記念・交流会館」の整備
- ②まちづくりプラットフォームの構築（再掲）

○主な取組み実績（R4.11 時点）

- ・（仮称）区画整理記念・交流会館の建設工事の推進、運営計画の検討

【取組みの方向性⑥】

桜通りの港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み

- ・桜通りを地域のにぎわいの創出とコミュニティ育成に資する「港区コミュニティロード*」として位置づけ、地域コミュニティを活かした取組みを進めます。

※危険木・障害木などにより安全性に課題のある既存の歩道を改良することによって、安全性の高い歩行者空間を生み出し、地域のにぎわいづくりやまちづくりのために歩道を活用していく道路。

（建設局が整備する「ゆずり葉の道（コミュニティ道路）」とは異なる。）

○具体的な取組み内容

- ①港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み
- ②港区コミュニティロードを活用したイベント等の開催

■東部（弁天町駅周辺）エリアの主な取組みスケジュール

まちづくりの基本方針	令和3年度（2021）	令和4年度（2022）	令和5年度（2023）	令和6年度（2024）
<p>基本方針① 基本方針②</p> <p>都心と湾岸をつなぐ交通結節点としての立地を最大限に活かした都市機能の強化とにぎわい・魅力を創出する</p> <p>都市居住の暮らしの利便性の高さと良好な地域コミュニティをベースとした災害に強い安全・安心が確保されたまちづくりを推進する</p>	【取組みの方向性①】大阪ベイタワーを中心とした弁天町駅周辺エリアのにぎわいの創出			
	①大阪ベイタワーアトリウム等の公共空間を活用した社会実験イベント等の継続的な実施			
	②まちづくりプラットフォームの構築			
	【取組みの方向性②】もと市岡商業高等学校跡地の民間活用（売却）の推進			
	①もと市岡商業高等学校跡地の民間活用（売却）の推進			
	※大阪市未利用地活用方針における処分目途の設定：A区分（令和2年度から5年度まで）			
	【取組みの方向性③】弁天町駅周辺エリアのバリアフリー化の推進			
	①交通バリアフリー弁天町地区連絡調整会議の開催（交通バリアフリー基本構想に基づく継続的な取組み）			
	②国道43号地下道のバリアフリー整備に向けた調整			
	③大阪ベイタワーとJR弁天町駅を結ぶ立体横断施設のバリアフリー整備に向けた調整			
	【取組みの方向性④】水辺空間の利活用の推進			
	①水辺空間の利活用にむけた検討プラットフォームの構築			
	②舟運や既存施設等を活用した社会実験イベント等の実施			
	【取組みの方向性⑤】（仮称）区画整理記念・交流会館を拠点としたまちづくりの推進			
	①「（仮称）区画整理記念・交流会館」の整備			
	②まちづくりプラットフォームの構築（再掲）			
	【取組みの方向性⑥】桜通りの港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み			
	①港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み			
②港区コミュニティロードを活用したイベント等の開催				

2025年大阪・関西万博の開催を契機とした持続可能なまちづくりの推進